

「動き出した歯学部の桜」後日談

う蝕学分野 子 田 晃 一

歯学部ニュース平成16年第一号の特集記事の一つとして歯学部の桜の移転について取り上げたところ、元歯学部長の石岡靖先生より以下のようなお便りをいただきました。

……略……

「歯学部の桜は何時植えられた」

此の桜は新潟市民の皆さんからも、注目されて、毎年愛でて戴いてきた桜ですから、多くの思い出や意見があると思います。歯学部の設立ともに歩んできた私にも多くの思い出があります。

私は創設期から歯学部校舎、付属病院の起工式、竣工式までを学部の責任者として見て参りました。この際、当時の記憶をたどって意見を申し上げます。

昭和48年、当時の増田事務局長から、例年では工事終了の次年度に来る環境整備費が来たので、早速に環境整備を行いましょと云う話を、私は直接伺いました。

そして、局長は、学校町道路脇のフェンス外の土手の上を子供が走ると危ないから何か植木を植えましょと言う意見で、土手全体にツツジを植えました。残念な事に、交番の前以外は、間もなくほとんどが抜き去られてしまいました。そこで、局長と相談して、盗難を防ぐように大きな桜の苗木を植えましたが、これも、間もなくツツジと同じように、交番前以外は抜き取られて、数本が残ったのが、現在の桜です。

したがって、これらの植樹は昭和48年の年度内、すなわち昭和49年3月までに行われたと記憶しております。

私と同時期の病院長であった福原先生は御存知かも知れません。また、私の後任（昭和48年7月

以降）の学部長であった石木先生は御存知であったかと思います。その時の病院長の小林幸男先生ですが、お二人には御伺いできず残念です。

これらの事実を総合的に判断して、私は、ニュースに記載されている「10周年記念植樹」とは関係ない桜であると思っております。

また、運動場にあったポプラの木は伊藤辰治元学長から残して欲しいという御要望がありましたので、校舎、病院竣工後まであったことも事実です。伐採した時期は判りません。私の手許に桜とポプラと一緒に写っている写真があります。私も桜を何年も撮影してきましたので、今年の最後の写真を含めて何枚か残しております。

ここで、私は、困難を乗り越えて見事な花を咲かせて多くの市民を楽しませてくれた桜に感謝と賛辞を贈って、安楽の移植地に根づき、再び、見事な桜を咲かせることを祈っています。

歯学部ニュースは大学紛争最中に、福原君と一緒に手書きの原稿コピーで作ったことを思い出しています。先生も当時のニュースを御存知と思います。ニュースの記事は何時の時代であっても正確であることが必要要件であると考えております。……以下略……

石岡先生は歯学部校舎新築移転時の学部長であられ、まさに当時の状況を一番ご存知でした。先生まで取材に行かなかった、前号編集委員の怠慢が露呈してしまいました。

ともあれ、記事より一年以上前の昭和48年度後半に植えられたことが判明し、記事の時点で31年経過していることが確認されました。

貴重なご教示をいただいたことに感謝いたしません。